

フィールド無線システムによる 貯炭場温度監視



無線温度センサによって、石炭パイルから搬送設備まで、広範囲に渡る石炭ヤードでの直接温度監視を実現。
自然発火による火災リスクを回避します。

現場の課題

石炭は空気中の酸素との反応によって発熱し、自然発火に至る可能性があります。特に石炭を搬送するベルトコンベアー上で発火した場合には、プラントの大規模火災につながったり長期の操業停止を余儀なくされるため、異常の早期発見が重要です。これまでの温度センサによる直接監視は、

- ◆ 配線コストの都合上、広範囲の貯炭場の中での測定点数が限定される
- ◆ センサ設置位置が固定され、柔軟に測定箇所を変更できない
- ◆ 測定箇所の追加には、都度工事が発生する

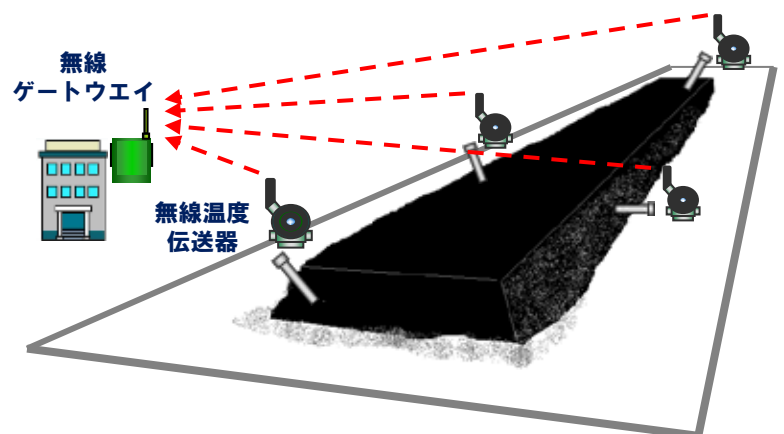
… などの問題がありました。

YOKOGAWAのソリューション

フィールド無線機器による温度監視システムを導入することで配線コストは大幅に削減され、

- ◆ 広範囲・多数の測定点の設置コストを抑えることができます。
- ◆ 表面温度ではなく、直接内部温度を測定することにより、確実な温度管理ができます。
- ◆ 測定点を柔軟に移動できます。
- ◆ 工事レスで測定点の追加ができます。

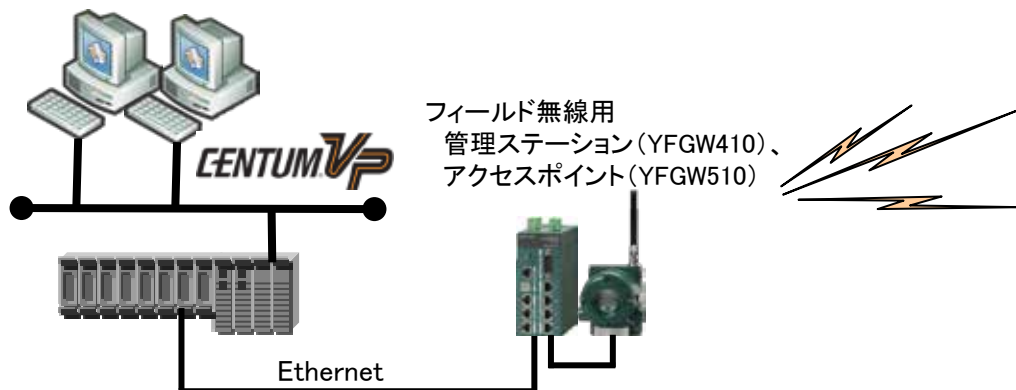
YOKOGAWAのフィールド無線システムは国際標準であるISA100に準拠した工業用フィールド無線システムです。



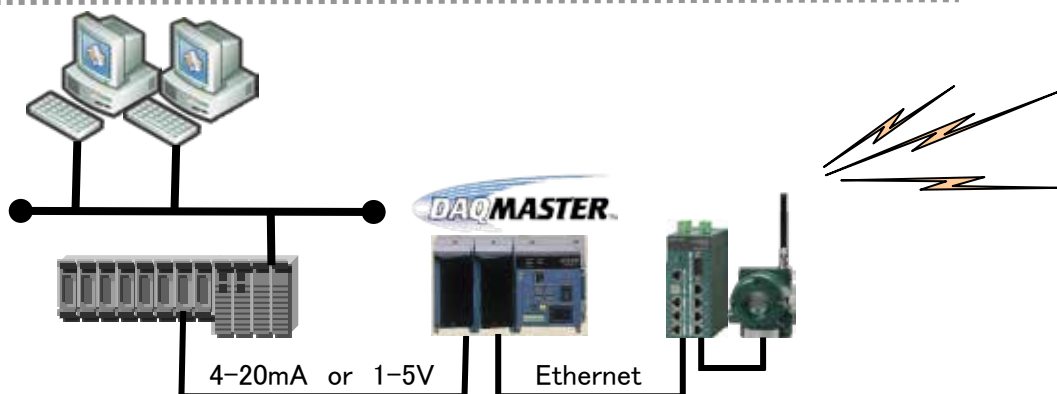
フィールド無線システムによる 貯炭場温度監視

運転されるユーザーの操作・監視システムに接続できます。

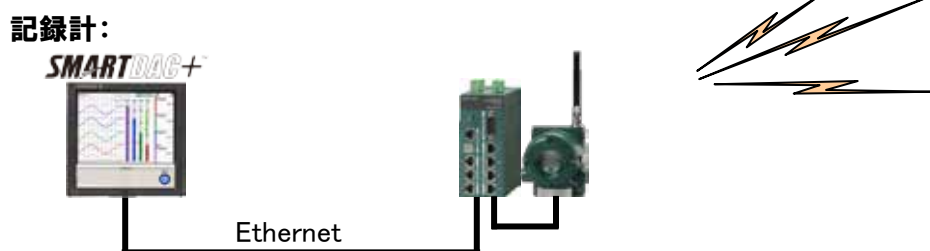
最新の中央監視制御システム(通信による接続)



中央監視制御システム(4-20mA, 1-5Vによる接続)



パネル システム



VigilantPlantは、横河電機(株)の登録商標です。
記載されている製品名は横河電機(株)の登録商標および商標です。



VigilantPlant (ビジラントプラント) は、お客様の理想の操作を実現する YOKOGAWA のビジョンです。プラントを隅々まで見渡し (SEE)、将来を予見し (KNOW)、俊敏な操業 (ACT) でビジネスの成長を支えます。

横河ソリューションサービス株式会社

〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32 0422-52-5630